

# WAP551およびWAP561アクセスポイントでの管理アクセスコントロールリスト(ACL)の設定

## 目的

アクセスポイント(AP)の管理アクセスコントロール機能を使用すると、Web、Telnet、またはSNMPを介してAPにアクセスするデバイスやホストを制限または制御できます。有効にすると、AP管理へのアクセスが許可されたホストだけにアクセスが許可されます。管理アクセス制御機能が無効になっている場合は、正しいユーザ名とパスワードを知っていれば誰でも、任意のネットワーククライアントとホストから管理インターフェイスにアクセスできます。

許可されたホストは、APに設定されているアクセスコントロールリスト(ACL)にリストされます。この記事では、WAP551およびWAP561アクセスポイントで管理アクセスコントロールリスト(ACL)を設定する方法について説明します。

## 適用可能なデバイス

- WAP551
- WAP561

## [Software Version]

- 1.0.4.2

## アクセスコントロールリストの設定

アクセスポイントではIPv4アドレスとIPv6アドレスの両方を設定できますが、どちらのタイプのアドレス設定も必須ではありません。IPv4アドレスを設定できるのは、アクセスポイントへのアクセスを必要とするネットワーク内の唯一のホストタイプである場合だけです。管理アクセス制御モードが有効になっている場合は、IPv4またはIPv6アドレスの少なくとも1つが設定されている必要があります。

ステップ 1 : Access Point Configuration Utilityにログインし、Administration > Management Access Controlの順に選択します。Management Access Controlページが開きます。

## Management Access Control

Management ACL Mode:  Enable

IPv4 Address 1:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 2:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 3:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 4:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 5:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv6 Address 1:

IPv6 Address 2:

IPv6 Address 3:

IPv6 Address 4:

IPv6 Address 5:

Save

ステップ 2 : Management ACL ModeフィールドのEnableチェックボックスにチェックマークを入れて、アクセスコントロールリストを管理します。

## Management Access Control

Management ACL Mode:  Enable

IPv4 Address 1:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 2:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 3:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 4:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv4 Address 5:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

IPv6 Address 1:

IPv6 Address 2:

IPv6 Address 3:

IPv6 Address 4:

IPv6 Address 5:

Save

ステップ 3 : IPv4 Address 1フィールドに、APへの管理アクセスを許可するホストの1つのIPアドレスを入力します。WAP551/WAP561 APでは、ACLに最大5つのIPv4ホストをリストできます。必要に応じて、IPv4 Address 2からIPv4 Address 5のフィールドにさらにIPv4アドレスを4つ追加します。

ステップ 4 : APへの管理アクセスを必要とするIPv6ホストがある場合は、ホストのIPv6アドレスをIPv6 Address 1フィールドに入力します。最大5つのIPv6アドレスを登録できます。必要に応じて、IPv6 Address 2からIPv6 Address 5のフィールドにさらにIPv6アドレスを4つまで追加します。

ステップ 5 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。